

学習したことを生かして

めあて

齋藤隆介さんの作者の他の作品を読んで、読書発表会をしよう

一 作者の他の作品を読もう

場面ごとに、心のこもったことや思ったことを書いていく。

二 読書カードを書こう

おすすめの本

(著者)

☆ 書名

☆ しょうかい

付せんに書いた心へのこつたことや思ったことの中から友達につたえたいことをえらんで書きます。

三 読書発表会の練習をする

四 読書発表会をしよう

発表会の仕方

グループでそれぞれのかんそうを発表する。相手にしつもんをする。発表を聞いてかんそうをつたえる。グループの代表が全体で発表する。みんなで発表会をしたかんそうをつたえ合う。

11 ~ 16 / 16 時間目 指導略案 読書カード

活動のねらい

齋藤隆介の他の作品を読んで読書発表会をさせることで、昔話に興味をもたせる。

1 齋藤隆介の作品を読んで、読書カードを書く。

「モチモチの木」で書いた読書カードを想起させ、本を読みながら付せんに「心のこつたこと」や「思ったこと」を書かせるようにする。
付せんに書いたものから、読んだ本の読書カードを書かせる。

評価 齋藤隆介の作品を進んで読もうとしている。

2 読書発表会の練習をする。

二人組で発表の練習をさせながら、付加修正させる。

3 齋藤隆介の他の作品を読んだ感想を交流する。

グループ内で、それぞれ感想を発表する。
お互いに質問をし合う。
発表を聞いての感想を伝える。
グループの代表が全体で発表する。
全体で発表会の感想を交流する。

- 6 時間の流れと配分時間(モデル)
- ・個人読書と読書カード作成 4 時間
- ・グループ内交流 1 時間
- ・全体交流 1 時間

* 集まった本の種類や学級の実態に応じて、発表会の形態を工夫されるとよいでしょう。

4 学習のまとめをする。

齋藤隆介の作品から、昔話独特の表現などにふれられることで、昔話を読もうと興味をもたせる。

評価 友達の発表に対して、意欲的に質問したり、感想を言ったりしようとしている。